

令和6年度

11月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	14回
2	延べ従事補導委員数	48人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	231人



11月の活動日誌から

11月1日（金） 街頭啓発活動（岩村田駅） 7・8班（I・K） 記

概要

朝7時30分からJR小海線岩村田駅前で『信州あいさつ運動』の啓発用ポケットティッシュを配りながら、あいさつを呼びかけました。岩村田駅を利用する社会人、高校生、徒歩や自転車で学校へ向かう中学生など、多くの方にあいさつを呼びかけることができました。こちらからの呼びかけに対し、目を合わせてあいさつを返してくれる方が多くいらっしゃり、あいさつが飛び交うすがすがしい朝になりました。

11月5日（火） 1班（K・M） 記

巡回経路 大型ゲームセンター → 駄菓子店 → 平根児童館 → 大型ゲームセンター

活動の様子

大型ゲームセンターに集合した後、駄菓子店に移動しました。店内には、オーガニック食品・各種調味料のほか、お菓子などがたくさん置かれていました。地元の子どもたちの利用が多いようです。子どもたちは、200円分のチケットをもらい、出資していただいた大人の方にお手紙を書いて送る仕組みになっているそうです。子どもたちの居場所作りには非常に良い取り組みだと思いました。平根児童館では、体育館で元気にドッジボールをしたり、外で遊んだりしている姿が良かったなと思います。寒くなってくると、外で遊ぶ子が少なくなるかもしれません。これからも外でいっぱい遊んでほしいです。

11月6日（水） 14班（K・M） 記

巡回経路 中込駅 → 成田公園 → 平賀新町公園 → 成知公園 → 城山公園
→ 原公園 → 中嶋公園

活動の様子

中込駅前ロータリーの自転車駐輪禁止エリア（駐輪禁止の立て看板あり）を確認し、幾つかの学校の通学許可ステッカーが貼付されている自転車が停められていることを確認した。以前、状況を調査し、各学校への通知を行っているが、まだ通知内容が浸透していないようだ。16時前、成田公園のベンチに腰かけている男性に声をかけた。17時からの定時制授業に出席するという青年であった。授業まで1時間以上あるようだが「この公園で待機している」と笑顔で答えてくれた。冷えてくる時間帯でもあり、風邪などひかぬよう声をかけて次の巡回に向かった。公園を巡回する

中、城山公園で遊ぶ児童らに声をかけると、元気な声であいさつを返してくれた。他にも数名の中学生がおり、同様に声かけをすると、サッカーをする約束をしていたようだ。原公園では、数名の児童が遊具で遊んでいた。声かけには、大きな声で返事をしてくれた。そこには、保護者もおり、遊ぶ児童らを見守っていた。

11月7日(木) 学校訪問(望月中学校) 19班(O・M) 記

概要

快晴の穏やかな日、望月中学校を訪問。教頭先生と生徒指導の先生から次のようなお話を伺いました。

【学習】「自分から学ぶ。自分たちで学ぶ、刺激しあう」を目標に ICT を活用した(クロームブック(パソコン) 大型ディスプレイ等活用) 授業。

【部活動】少子化により、来年度から剣道部が休部に。寂しい気持ちになりましたが、今の時代では仕方ないことと思いました。

【生徒会活動】メリハリある生活を心がけ、しっかりとしたあいさつを行えるよう『あいさつ運動』を行っている。あいさつがよくできていると思う。

【生徒指導・支援】いじめ対策委員会を設置、アンケートにより、いじめを吸い上げている。声かけによりいじめの前兆を把握している。

会議終了後、郷土学習発表で制作した展示物を見せていただいた。郷土料理・郷土の武将・地域の寺社等、とても分かりやすく、詳しく作られているものばかりでした。これらを見て、生徒たちは学校生活がうまくいっているように感じ、子どもを支えている先生方に対し、ありがたい気持ちにさせていただきました。



11月8日(金) 12班(A・M) 記

巡回経路 生涯学習センター → 東田公園 → 鍛冶屋公園 → 高柳公園
→ 五稜郭公園 → 生涯学習センター

活動の様子

気温がぐっと下がるととても寒い朝でしたが、午後からは晴れ間が広がり、さわやかな中で巡回をしました。生涯学習センターの『つどいの広場』には、15人くらいの子・中学生が、勉強をしたりゲームをしたりして過ごしていました。東田公園・鍛冶屋公園・高柳公園には人影がありませんでした。五稜郭公園では、母親と小さな子ども14人が楽しそうに遊んでいました。下校時間帯と重なったためか、多くの小・中学生を見かけました。

11月11日(月) 11班(S・K) 記

巡回経路 生涯学習センター → 東田公園 → 野沢児童館 → 原公園
→ 城山公園 → 成知公園 → 生涯学習センター

活動の様子

このところの冷え込みも収まり、小春日和の午後でした。野沢児童館は、74名の利用者があり、3年生以下の児童20名ほどが、元気よく外で遊んでいました。外遊びの時間は、学年によって割り振りしているとのことでした。児童厚生員さんより「最近特に変わったことはない。インフルエンザなどの流行が気になります」と話していただきました。城山公園では、3年生の男子3名と女子1名が遊んでいました。公園の片隅に集められた落ち葉の池の中に、勢いよく飛び込む男子児童は、落ち葉だらけになりながらも、満面の笑顔でした。専門補導委員より、古い木から枝

が落ちてくることがあるので注意することや、帰宅時刻を守ることを伝えてもらいました。自分が小学校3年生のころ、旧佐久市が発足し、私が通う小学校の電話番号が、394（サクシ）と読めると話題になったことを思い出しました。学校名が変わった今でも、その電話番号は引き継がれております。

11月12日（火）

15班（S・N） 記

巡回経路 中込駅 → カラオケ店 → 大型ゲームセンター → ネットカフェ
→ ゲームセンター

活動の様子

暖かく過ごしやすい日でした。これまでは、公園や児童館を主に巡回していましたが、今回はカラオケ店・ゲームセンター・ネットカフェを巡回しました。カラオケ店には、21のルームがあり、訪問時、いくつかのルームが使用されていました。店員さんによると「高校生グループの利用が多い」とのことでした。大型ゲームセンターは、利用客は少なく、少年の姿は見られませんでした。様々なゲーム機がたくさんあるので、週末には多くの利用者があるのではないかと感じました。ネットカフェでは、1室が利用されていたほか、ダーツコーナーで一人の男性が黙々とダーツの矢を投げていました。隣のゲームセンターも閑散としていました。今回訪問した各施設はどこも利用者は少なかったのですが、時間帯・曜日によっては利用者が多いと思われるので、各店舗の従業員の対応が大切であると感じました。

11月13日（水）

10班（T・M） 記

巡回経路 生涯学習センター → 東田公園 → 原公園 → 城山公園 → 中込駅
→ 成知公園 → 生涯学習センター

活動の様子

温かい日だったこともあるでしょうが、11月というのに半袖で元気に遊ぶ男子児童には驚きました。水曜日なので下校時間も早く、帰宅後、自転車で公園に向かう児童も数人見かけました。最近、不審者による声かけ情報もあるせいか、怪しがる子もいたりして、声かけも難しいと感じました。城山公園では、「修学旅行明けで学校が休みだった」と言い、元気にボール遊びをしている6年生や遊びながらもノートと鉛筆を離さない男子児童がおり、可愛らしかったです。中込駅前では今日も多く、駐輪違反がみられました。また、高校生の集団の自転車移動や車道を横切る者もいて危険を感じる場面もありました。

11月14日（木）

学校訪問（野沢小学校）

9班（T・H） 記

活動の様子

小学校の正門に到着し、まず目に入ったのは、NHK合唱コンクール全国大会出場の大きな横断幕でした。校舎に入ると会議室に案内され、校長先生、教頭先生が対応してくださいました。学校からは、学校の概要、児童のようす、補導委員への要望の3点について説明がありました。学校要覧や学校だよりを用意していただき、学校と地域との連携や、生徒指導に関わる問題について意見交換をしました。補導委員から、「信号機のない交差点で、車を止めると、3年生くらいの児童が、道路を横断した後、振り返って頭を下げてくれた姿に感心した」との話が出されました。また、子どもたちの生涯学習センター利用について、注視していくことが必要であるとの意見が出されました。



11月15日（金）

16班（I・K） 記

巡回経路 あいとぴあ → 切原児童館 → 下の宮公園 → 臼田交番
活動の様子

曇り空のため、寒いかなと思いましたが、とても過ごしやすい日でした。久々に切原児童館を訪問しました。11名の児童が宿題をしたり読書をしたりして、和やかな雰囲気を感じました。10月26日に、

『児童館に集まれ事業』という行事を実施し、万華鏡とフルーツポンチ作りを行ったようです。友だち同士で教え合ったり、包丁を使ってフルーツポンチを作ったり、楽しい一時を過ごし、この事業は大盛況だったとお聞きしました。下の宮公園を訪れましたが、落ち葉の舞い散る公園には誰もいませんでした。今回は、初めて臼田交番を訪問し、所員さんから現在の状況を伺いました。「現在、児童・生徒による犯罪は発生していない」とお聞きし安心しましたが、携帯電話による詐欺事件には、お互い気を付けなければいけないと感じました。



11月19日（火）

2班（K・T） 記

巡回経路 大型スーパー → 中佐都児童館 → 近津南公園 → ねむのき公園
→ 大型スーパー

活動の様子

大型スーパーを出発し、中佐都児童館に向かう。その後、近津南公園・ねむのき公園を巡回。2人の男子中学生が、ねむのき公園の四阿（あずまや）の屋根に登って携帯ゲーム機で遊んでいた。屋根の高さは、地上2メートル強。彼らは、桜の太木の枝を伝い、屋根に登ったとのこと。降りるよう促すと、あっけなく屋根から飛び降り、ケロッとしている。怪我はなし。時々屋根に登り、スマホでゲームをやっているとのこと。ある意味『常習者』である。専門補導委員が、噛みくだいて危険性を説明・指導し、帰路につかせる。二度と無茶なことをしないよう願うのみである。

11月20日（水）

4班（T・A） 記

巡回経路 浅間会館 → 駄菓子店 → 東会館 → 東児童館 → 浅間会館
活動の様子

志賀地籍に子どもたちを支援してくれる駄菓子店があると聞き、見学に行った。営業は、火・水・金・土曜日で小・中・高校生が利用できる。運営費の一部は、地域の人などの寄付で賄っており、来店した子どもたちは、店から無料で800円分のチケットをもらい、このチケットを使って1日200円分の駄菓子を購入できるシステムになっている。その際、チケットをもらった子どもは、寄付してくれた人に『お礼や自分が今頑張っていること』などを手紙にし、その手紙は店から寄付者に渡しているそうだ。地域の小・中・高校生の居場所となり、また地域の人とつながるととても素晴らしい場所だと思った。このような場所がさらに増えればいいなと思った。東会館内に学習室はあるが、小・中学校から離れているので、利用する児童生徒は少ないとのこと。東児童館では、11名の児童が元気にドッジボールをしていた。また、14名が学習室にいた。とても人懐こく、私たちにいろいろ話しかけてくれた。

11月22日(金)

17班(I・K) 記

巡回経路 臼田交番 → 下の宮公園 → 下荒公園 → 下越児童館 → 五稜郭公園
→ 臼田交番

活動の様子

下の宮公園では、老婦人2人がベンチで会話をしていました。下荒公園は、入口が閉鎖されていました。両公園とも落ち葉が多く、子どもたちの姿はありませんでした。15時50分に下越児童館を訪問しました。児童は5人ほどでしたが、この後、多くの児童が来館するとのことでした。多い日には25人くらいが利用するようで、新臼田小学校開校後、利用者は増え続けているとのことでした。2階には広めの遊戯室があり、サッカーゴールが置いてありました。このサッカーゴールは、段ボールなどを使用して職員が手作りしたもので、ぶつかってもけがをしないよう安全に配慮されていました。子どもたちにとっても人気とのことでした。館内は、活気にあふれており、好感が持てる雰囲気でした。五稜郭公園を訪問しました。16時08分以降は、スクールバスが到着する時刻のようで、児童・園児・保護者等30人以上がおり、とても賑やかな公園でした。

11月25日(月)

13班(I・K) 記

巡回経路 横町公園 → 平賀新町公園 → 水上公園 → 橋場公園 → 成田公園
→ 成知公園 → 原公園 → 城山公園 → 野沢生涯学習センター

活動の様子

今月から補導活動時間が30分早まり、巡回中に下校する中・高生を多く見かけました。落ち葉の積もった晩秋の水上公園に人影はありませんでした。いつもは小学生でにぎわう成知公園でさえ、1組の親子連れを見かけたただけでした。原公園に足を伸ばすと、女子児童3人が、四阿(あずまや)でお菓子を持ち寄って、楽しそうに話していました。近くに住んでいるという3年生は「今日は5時間授業で、みんな待ち合わせて来た」とにこやかに答えてくれました。生涯学習センターのつどいの広場では、大勢の小・中・高校生が宿題をしたり、ゲームで遊んだり、試験勉強をしたりして過ごしていました。小学3年生の女子4人のグループと小学1年生の男子1人は、近所なので時々ここを利用しているそうです。人数を数えると、20人以上児童・生徒がいました。これからの季節、こうして集える場所があることは、子どもたちにとって、ありがたいことだと感じました。

11月26日(火)

5班(I・T) 記

巡回経路 大型スーパー → 高瀬児童館 → 千曲川スポーツ交流広場 → パチンコ店
→ 砂田公園 → 大型スーパー

活動の様子

気温8度、この時期としては平年並みであるが、曇り空で風が強く寒い日となった。夕方から雨とのことで、車で高瀬児童館へ行く。この時間帯、子どもは30人ほどいて、半数近くがこの寒さの中、砂遊びをしている。たくましさを感じた。その後、千曲川スポーツ交流広場へ移動。元気な老人たちがゲートボールをしていた。今回、時間帯もあるが、児童館以外では小学生・中学生には会えなかった。終了時には雨が降ってきた。



11月27日(水)

6班(K・I) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター → 小田井児童館
→ 大型ゲームセンター

活動の様子

11月下旬とは思えない過ごしやすかったです。大型ゲームセンターの店内には子どもたちの姿はなく、数名の大人がゲームを楽しんでいました。店長から「18時以降は子どものみの入店はさせていない」とお聞きしました。前回、訪問した際も子どもたちの行動には注意を払っているとの話を聞いていたので安心しました。ネットカフェでは、今は子どもたちも少ないが、例年、年末年始には多くの来客があり、特に子どもたちの行動に注視しているとのことでした。隣接するゲームセンターでは、児童2名がおり話を聞きました。叔母と一緒に他の市から来て三人で食事をした後、ゲームセンターに遊びに来たとのことでした。大きな景品をゲットして嬉しそうな顔が印象的でした。その後、小田井児童館に向かいました。アポイントなく伺ったが、2名の児童と児童館の職員が迎えてくれました。図書館、集会室と一緒に子どもたちは、それぞれ数名で遊んでいました。勉強について聞いたところ、利用時間の15分間が勉強の時間であるとのことでした。楽し気に遊びまわっている子どもたちから元気をもらいました。

11月28日(木) 学校訪問(岩村田高校)

3班(I・S) 記

概要

岩村田高校の『学校訪問』を実施しました。校長のあいさつ・自己紹介の後、会議となりました。専門補導委員からは『少年補導活動の概要・街頭補導活動の内容』『街頭補導活動を実施している中で感じたこと・生徒の様子』等について説明がありました。また、学校からは出席された校長・生徒指導の先生から『学校の概要』『学習・部活動・生徒会活動などの様子』等を詳しく説明していただきました。「特に問題になっていることは現在ない」とのことでした。

11月29日(金)

18班(M・Y) 記

巡回経路 浅科支所 → あさしな児童館 → チャレンジ教室 → 浅科支所

活動の様子

黒い雲に覆われ、冷たい雨がぽつぽつと降ってきた。今にも雪に変わりそうな寒い日だ。あさしな児童館では、遊戯室にいた1～2年生40人くらいが、館長の話を聞いていた。館長は、子どもたちに私たち補導委員の活動内容を紹介してくれた。子どもたちは興味深く聞いており、補導委員の活動を知っていただく良い機会となった。塩名田にあるチャレンジ教室を訪問すると、児童生徒は下校した後で、在室している者はいなかったが、適応指導員の先生からお話を伺うことができた。登録されている児童生徒は増加傾向で、試しで利用している子どもを含めると50人近くになり、常時15人くらいが教室に通っているとのことだった。臼田や野沢など浅科地区から遠距離となる地域から通っている児童生徒もいるようだ。午前9時から11時までの2時間は、一人で勉強したり、読書したりする時間としているとのこと。チャレンジ教室に通う中で、学校に行けるようになった児童生徒もいることもお聞きした。増加傾向にある不登校児童生徒の受け皿があることをありがたく思うとともに、さらに受け皿を充実させる必要性を感じた。



◀ 11月の活動を終わって。 専門補導委員 Y・K ▶

1年を締めくくる「師走」を迎えました。早朝には朝日に照らされた草木が寒さに負けまいと、降霜できれいに化粧している姿を見る機会が多くなりました。11月中には、
街頭啓発活動（岩村田駅前） 青少年健全育成県民大会（中野市）
佐久市青少年健全育成市民集会（市民交流センター）
学校訪問（望月中学校・野沢小学校・岩村田高校）
モンゴル国スフバートル区子ども交流研修 等

たくさんの行事や活動がありましたが、補導委員の皆様はじめ、多くの方のご協力をいただき、青少年健全育成活動を実施することができました。ありがとうございました。

また、12月には、

補導委員協議会 視察研修

学校訪問（臼田中学校・佐久平総合技術高校浅間キャンパス・同校臼田キャンパス）が予定されています。よろしくお願いします。

さて、流行語大賞ですが、ここ3年間の大賞は、『アレ（ARE）』『村神様』『リアル二刀流/ショータイム』でした。私は『今年も野球関係かな？大谷選手が達成した本塁打・盗塁の『50-50』かな？』と想像していました。ところが今年の大賞は、聞いたことのない『ふてほど』でした。早速、ネット検索したところ、

“民放で放送されたドラマのタイトル『不適切にもほどがある！』の略称。中学校教師が、ある理由で1986年から2024年にタイムスリップしてしまう。『昭和のオヤジ』の主人公は令和では『地獄のオヤジ』と恐れられ、今では考えられない不適切な発言を連発。『昭和のだめオヤジ』によるタイムスリップコメディ”

とのことでした。私は、昭和20年代生まれ、まさに昭和のオヤジ（昭和のジジイかも）で、横文字に疎く、パソコン操作は数本の指のみ、ITの話題になると聞きなれない単語から外国にいるような錯覚。『巨人の星』を見て“思い込んだら試練の道を 行くが男のど根性 血の汗流せ 涙を拭くな…”と歌っていた。また、“凍（こご）えた両手に息を吹きかけて 凍（しばれ）れた体を温めて 生きることが辛いとか苦しいだとか言う前に…”と歌い、努力・根性・忍耐等を美德（現代では、おそらく理解されず批判される方が多いかも）とし、『昭和』を生きてきました。今になって思うと、私も幾度となく不適切な発言をしたかと思います。私も『昭和のだめオヤジ』の一人かもしれません。

「ちょっと待った！昭和だって…」

世界恐慌・世界大戦・大災害などの暗いこともあった『昭和』でした。しかし、今日では犯罪発生や非行少年が少なく、世界の中で最も治安が良い国の一つともいわれています。外国人は日本人の性格を『真面目』『謙虚』『我慢強い』『勤勉』とみているようです。このような性格の国民一人ひとりが『汗や涙を流し、安全な日本にしたい。次代を担う若者を健全に育成したい』と願い、頑張った『昭和』でした。その結果が今日の日本ではないでしょうか。将来を担う青少年が健全に成長するようにと願う気持ちは決して忘れてはならず、また、これからも変えてはいけないもの（不易）と思います。半面、多様性を認めるなど、時代の変化を敏感に感じ取り、新しい価値観を取り入れていくこと（流行）が大切だと思います。『昭和のジジイ』の私は、青少年健全育成のため、これまでと変わらぬ本質を大切にしながら、新しい変化を取り入れる『不易流行』の言葉を胸に青少年健全育成活動を推進していくことが大切であると思います。